様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	さんぽく森のなかよし学童保育所	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	特定非営利活動法人おたすけさんぽく	所管課	山北支所地域振興 課
指定期間	令和6年４月１日～令和11年３月31日（５年間）	評価者（課長）	森山　治人

１　令和７年度の実績

（1）事業実績

利用実績	①学童保育所　　年度末在籍児童　49名　延べ登所児童数　9，176名 ②子育て支援センター　延べ利用者数　395名　（ 大人207名 子ども188名 ）
サービス向上の取組	おたより・ホームページ・マチコミ等を通じて学童保育所・子育て支援センターの活動の様子を知らせた。利用者のニーズを把握し今後の運営に活かすため、アンケート調査を実施した。

（2）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	21,563	26,664	28,141	76,368	基本協定額：　136,190　千円
	利用料金	2,078	2,321	2,079	6,478	
	事業収入	1	1		2	
	自主事業収入	929	995	968	2,892	
	その他				0	
	収入合計　①	24,571	29,981	31,188	85,740	
支出	人件費	19,504	23,073	24,645	67,222	
	福利厚生費	607	616	549	1,772	
	事務費	1,173	1,231	427	2,831	
	管理費	2,446	3,258	3,595	9,299	
	水道光熱費	1,080	1,151	1,257	3,488	
	修繕料	256	478	637	1,371	
	使用料・リース料	232	220	125	577	
	手数料・保険料	226	361	407	994	
	委託料	652	1,048	1,169	2,869	
	事業費	23	22	21	66	
	自主事業経費	929	995	968	2,892	
	その他				0	
	支出合計　②	24,682	29,195	30,205	84,082	
収支差額（①－②）		▲ 111	786	983	1,658	

2 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	◎	おたすけさんぽく20周年記念行事（自主事業）を通じて地域との交流を図った。
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	◎	有害鳥獣の出没が非常に多い中、利用児童の安全確保に尽力した。
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	◎	おたすけさんぽく20周年記念行事を通じて地域との交流を図った。

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

３　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

・施設の建設から20年程経過し、補修の必要な個所が多い。床暖房のボイラーもいつ不具合が起きるのかわからない状態。
また、児童女子トイレの２基については使用から20年程が経過しており、入れ替えが必要になる時期も近いのではないか。
・講堂にはエアコンの設置がなく、夏休み中等熱中症が危惧される。
・加配支援員を厚く配置させてもらっているが、長期休業中は開所時間が長い事や人手不足なのもあり人員の確保が難しい。
・子育て支援センターの利用者減が著しいが、急速に少子化の進む山北地域で、地理的な要因もあり利用者増につなげるのは難しい。

（2）課題解決に向けた取組

・加配支援員については役員・職員に声をかけ、情報収集に努めている。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

②その他

４　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

・当会役職員協力のもと事業に取り組み、５期２年目となる指定管理の期間を無事終えることができた。
・子育て支援センターは毎年度利用者数が減少しており、取組に苦慮している。
・支援員の資質の向上を図り、いろいろな団体と協力・連携をしながら日々活動を行った。
・保護者に寄り添いながら、子ども達の目線に立った居場所や放課後の過ごし方を考え活動できたのではないかと考える。

（2）施設所管課の評価

・利用児童の安全保育と健全育成を第一に考え、地域との交流や自然・文化体験を取り入れた様々な活動を積極的に取り組んでおり、高く評価できる。
・令和7年度は、有害鳥獣の出没が非常に多かったが、その中でも児童の下校時や、施設利用中の安全確保を適切に図ったことが評価できる。また、自主事業の中で特定非営利活動法人おたすけさんぽくの20周年記念行事を通じて地域と利用児童の交流の場を設けたことも評価できる。
・日々の保育や活動、事業に工夫を凝らし、利用児童に充実した安心感のある保育を提供することができ、また、子育て支援センター事業も同様に工夫を凝らし、利用者のニーズに応えた。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

これまでどおり様々な不測事態を想定し、柔軟かつ適切に対応できるよう、万全な管理運営体制を維持するように努めていただきたい。
また、旧保育園施設のため、屋内の部屋数が多く園庭も広いので、事故がないよう十分注意してもらいたい。
子育て支援センターは利用者減が著しい。施設をとりまく利用対象者の状況、ニーズに沿った活動が提供できるよう努めていただきたい。